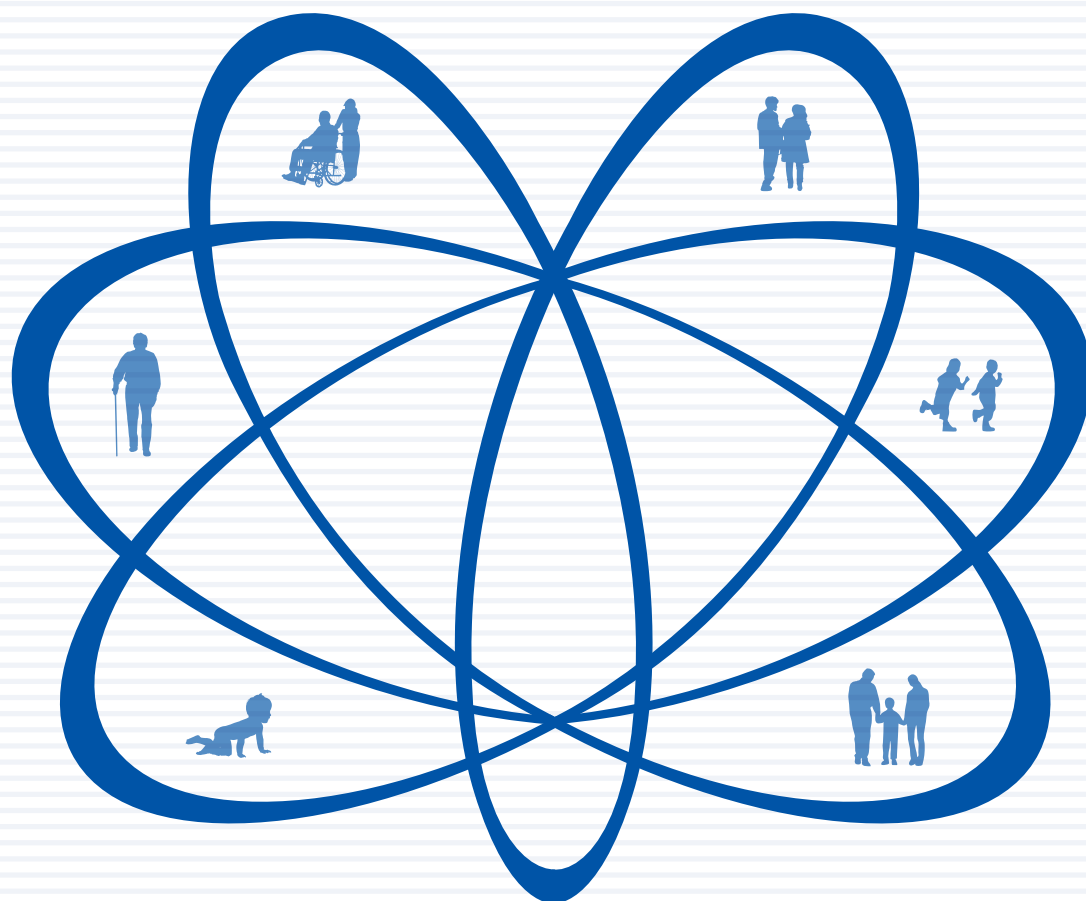




東北大学

東北大学 総合地域医療研修センター 支援プロジェクト

Comprehensive education center for community medicine



文部科学省 平成23年度～平成27年度
「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」



東北大学
総合地域医療研修センター



東日本大震災からの地域医療復興に向けて

東日本大震災からの地域医療復興に向けて

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方太平洋沿岸部の医療機関に甚大な被害をもたらしました。東北大学の「総合地域医療研修センター支援プロジェクト」は、被災地の医療支援の一貫として、被災地で地域に密着して医療を行ってきた有意な人材を受け入れ、再教育のうえ、地域に派遣することで、被災地の医療人流出と燃え尽きを防ぎ、地域医療全体のレベル向上を図るために開発されました。また、被災地で活躍した医療人の実体験を後世に伝え、救急・災害医療の専門家による教育を行い、新たな災害医学の確立とともに、災害医療に対応できる人材を養成することも大きな目的としています。

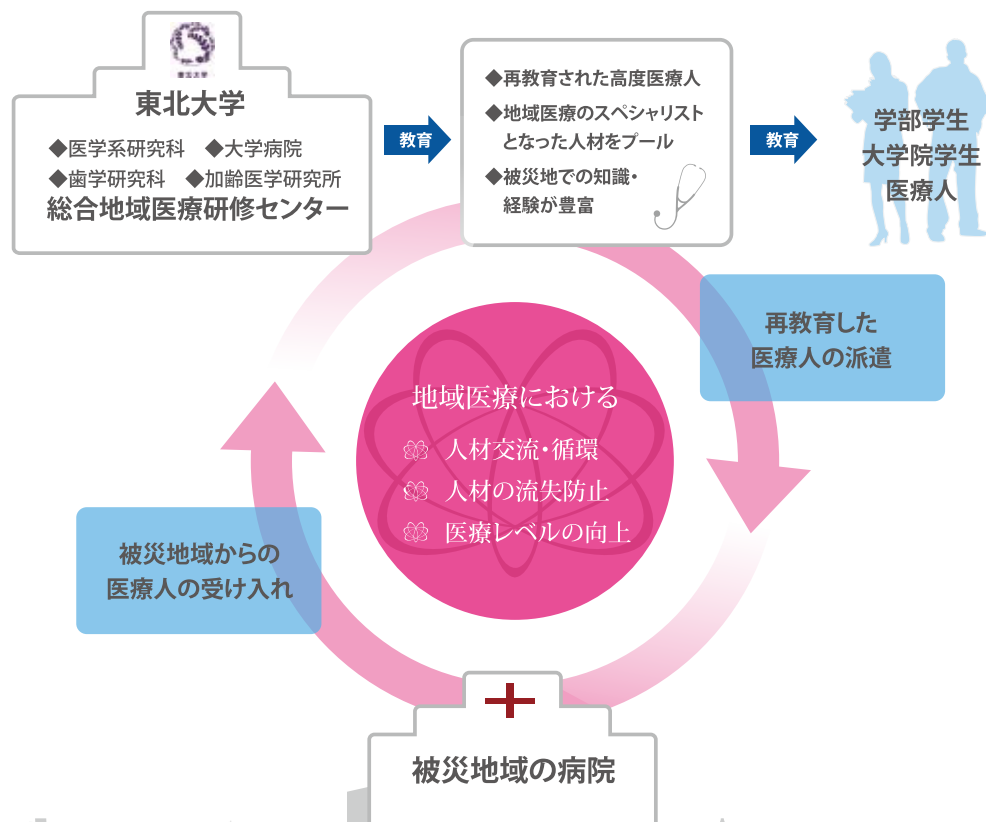
総合地域医療研修センターでは、クリニカル・スキルスラボのシミュレーターを利用した各種研修会が活発に開催されており、利用実績は平成24年度8,864人、863件、平成25年度12,809人、1,074件、平成26年度15,507人、1,114件と年々増加しており、学内外の医療人の再教育に大きな役割をはたしています。

震災から4年半が経ちますが、被災地医療が再生するにはなお時間を要します。「総合地域医療研修センター」は引き続き、被災地の医療人の流失を阻止し、地域全体の医療レベル向上を図り、以て東北の地域医療復興に貢献したいと考えています。



東北大学大学院医学系研究科長
医学部長 下瀬川 徹

総合地域医療研修センター支援プロジェクト





総合地域医療研修センターの紹介



東北大学大学院医学系研究科
総合地域医療研修センター長
張替 秀郎 教授

これまでも東北地区は医師不足、コメディカルスタッフの不足により地域医療の維持に大変苦勞してきました。そのような状況下で起きた東日本大震災により、病院の損壊、医療人の損失・流出および精神的消耗が引き起こされ、被災地はより深刻な医療崩壊の危機に直面しました。この医療崩壊を防ぎ、さらに被災地の医療を復興・発展させるためには、被災地で医療に従事してきた有為な人材を維持・確保するとともに、意欲的な医療人を地域に派遣する必要があります。そのためには、これらの医療人材に、新たな医療の教育の場を提供し、レベルの高い医療人を地域に還元する、いわば循環型医療人教育・派遣システムを構築しなければなりません。東北大学はこれまで一貫して指導的・高度医療人を育成し、地域医療に関する研究・教育・診療に大きな貢献をしてきました。今回の東日本大震災により大きなダメージを受けた地域医療の復興は東北大学の責務といえます。

そこで、東北大学医学系研究科は、地域医療の支援と震災後の医療の復興を目的として、総合地域医療研修センターを設立いたしました。本センターでは、東日本大震災で被災した医療人を受け入れ、大学病院の先端医療に携わる場を提供するとともに、最先端のシミュレーターを導入したトレーニングセンターを整備し継続的な訓練の場を提供します。この環境を活用することで、よりレベルアップした医療人を地域の医療現場へ還元します。

また、本センターでは医学生、大学院生に対する地域医療・災害医療の教育を積極的に行います。本センターで受け入れる医療人は未曾有の震災を体験した災害医療学の実践者であることから、これら医療人を講師として、幅広い領域での実践的災害医療を学生に教授します。すなわち、本センターは、被災した医師・コメディカルといった医療人に診療・研修の場を提供するだけでなく、これらの医療人をはじめとした災害医療の実践者・専門家による災害医療学を医学生・大学院生に提供することも使命の一つとしています。

さらに、本センターは、「より開かれたセンター」であることを基本姿勢としており、閉鎖型の循環型地域医療人派遣にとどまらず、地域医療に熱意を持つ外部からの医療人の受け入れを積極的に行うとともに、トレーニングセンターについては外部の医療関係者にも利用できるシステムを整えています。本センターを通じて東北地区の地域医療が復興・発展が果たせるよう、関連各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。





総合地域医療研修センターの取組

本事業では、東北大学医学系研究科に「総合地域医療研修センター」を設立し、大きく三つの目的を掲げ、医療復興支援・災害医療学の確立を実施します。

I. 被災地の医療人材の受け入れと高度医療人としての再教育

東日本大震災で被災した医療職人材を受け入れ、最先端医療・医学に触れさせることで高度医療人を養成します。

II. 新たな災害医療学の確立と地域・災害医療に携わる人材の養成

災害・救急医療の専門家及び震災を経験した医療人による医学・歯学教育を実施し、災害医療に対応する人材の養成を積極的に行います。

III. 医学部定員増に係る医学教育重点プログラムの実施

定員増による少人数グループでの実習の指導者の負担増の解消のため、教職員を増員し医学教育に当たるプログラムを実施します。

I. 被災地の医療人材の受け入れと高度医療人としての再教育

① 講習会の実施

総合地域医療研修センターでは、医師・歯科医師・看護師・薬剤師・歯科衛生士・技師などを対象に職域を超え幅広い研修を行います。

- ・聴診、触診や血圧測定など簡単なフィジカルアセスメントに関する研修
- ・救急医療や災害医療に関する研修(災害時のトリアージ、DMAT、避難所における医療など)
- ・細胞診など病理医・検査技師の遠隔研修
- ・先端医療技術トレーニング(動物を使った外科手技のトレーニングなど)
- ・災害時口腔ケアに関する研修

② 被災地の医療人材募集

医師・看護師・薬剤師・歯科衛生士・技師など被災地で職を失った医療人を東北大学で雇用し、勤務しながら高度医療のトレーニングを実施します。



II. 新たな災害医療学の確立と地域・災害医療に携わる人材の養成

災害・救急医療の専門家や、未曾有の大震災を経験し、大きな社会貢献を果たしてきた医療人を講師として招聘し、新たな災害医療学の確立と災害医療に対応できる医療人材を養成します。

【大学院授業】

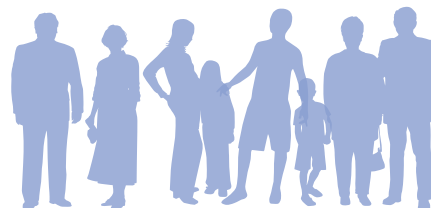
「災害医学特論」、「災害医学セミナー」、「災害医学概論」、「災害歯科医療学実践講義」

【学部授業】

「総合臨床医学 一周術期医学、救急・災害医療、医療法規」、
「救急・トリアージ講義」、「トリアージ訓練」、「災害歯科医学講義」

【被災地医療実習(研修医、大学院学生、学部学生向け)】

「災害医学実習」、「災害歯科医療実習」、「災害時口腔ケア実習」



III. 医学部定員増に係る医学教育重点プログラムの実施

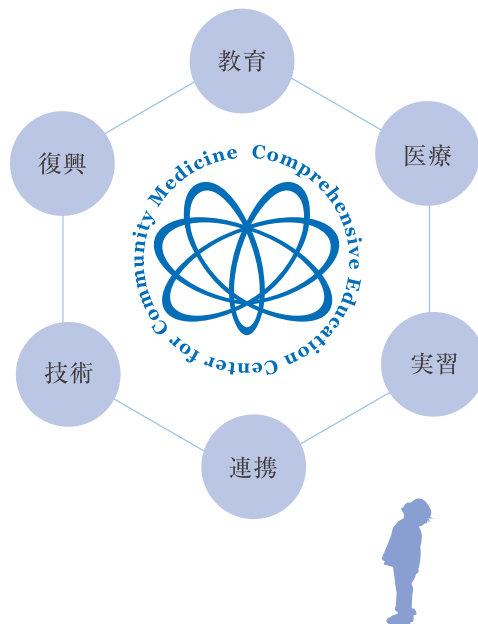
地域の医師不足解消を目的とした東北大学の医学部定員増により、少人数のグループで行われる実習の指導者の負担増の解消と教育の質の確保のため、社会的ニーズの高い医学教育に係る重点領域の教職員を増員し、医学教育に当たるプログラムを実施します。



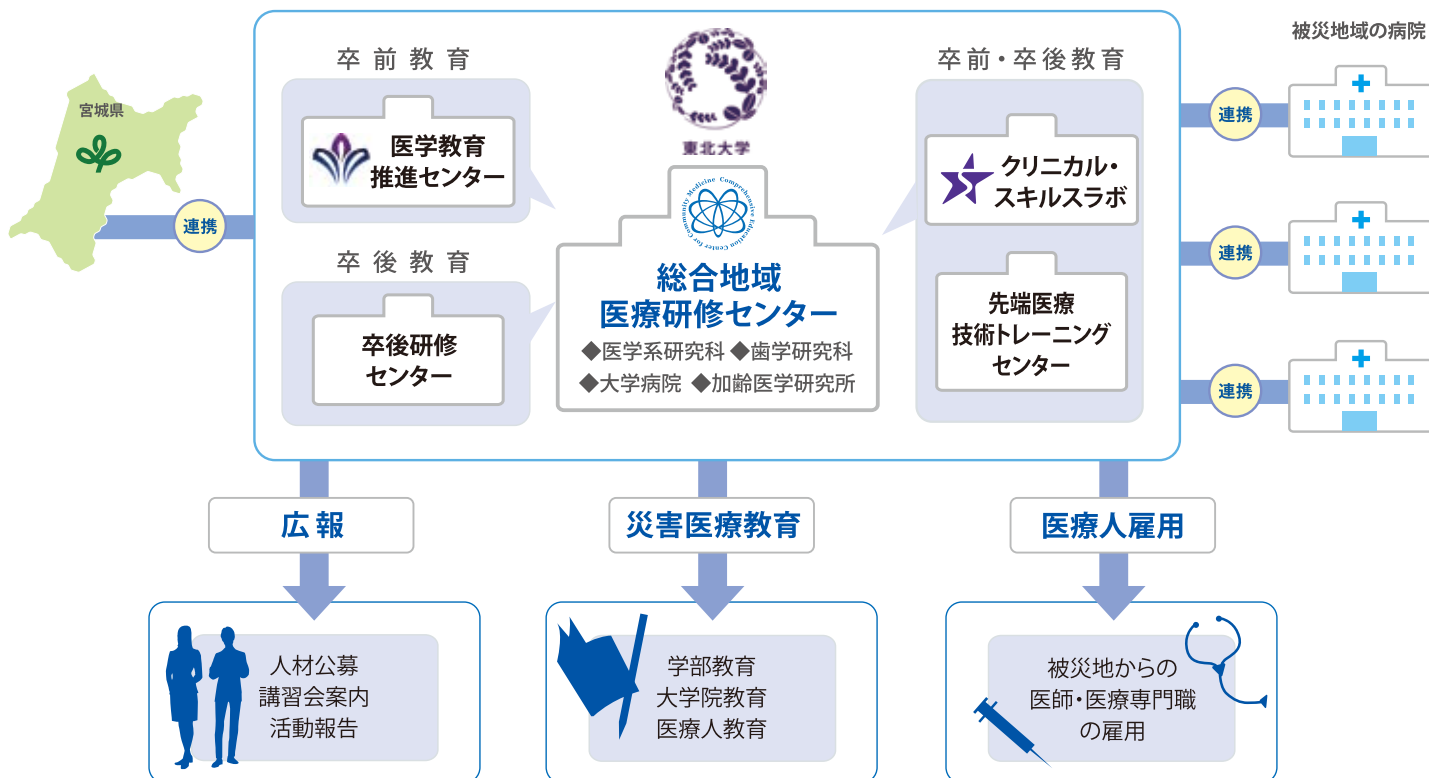
総合地域医療研修センターの実施体制

被災地の医療復興の実現を目指します

本センターは、東北大学の星陵キャンパスに位置する医療系4部局(医学系研究科・歯学研究科・大学病院・加齢医学研究所)の合同で設置されました。更に宮城県、被災地域の医療機関とも連携し、被災地の医療復興の実現を目指します。被災地で職を失った医療人を雇用し、再教育の上、被災地に戻す医療人雇用、学内外から災害医療の専門家による学生・若手医療人の教育を行っています。卒後研修センターでは研修医の教育・インストラクターのプール・評価の実施、医学教育推進センターでは医学生の教育、クリニカル・スキルスラボではシミュレーターを用いた実技実習、先端医療技術トレーニングセンターでは動物を用いた外科手技トレーニングを行います。星陵キャンパス4部局の教員による合同の委員会を設置し、それぞれの役割を明確にして、効率的で実用的な教育を行っています。



目的 ①被災地医療人の受入れ・再教育(循環) ②災害医学の確立・教育 ③定員増に係る重点プログラムの実施



● 総合地域医療研修センター 運営委員会	運営方針・人事・予算・責任者会議
● 総合地域医療研修センター 支援室会議	教育・研修企画・実務者会議
● クリニカル・スキルスラボ 運営委員会	シミュレーター・研修等運営・管理・実務者会議



クリニカル・スキルスラボの案内

SIMSTAR (Simulation Center for Medical Skills Training and Research)

シミュレーターなどの 主な設備についてご紹介

シミュレーターを駆使して実際の医療現場を模した環境を提供し、臨床では反復が難しい技術の習得のために安全かつ効果的なトレーニングの場を提供します。

胸部診察トレーニング

シミュレーターを用いてリアルな呼吸音・心音を聴取できます。また臨床ではなかなか経験することのないめずらしい心音・呼吸音についても聴取できます。



心肺蘇生トレーニング

一次救命処置(BLS:Basic Life Support)や二次救命処置(ACLS:Advanced Cardiovascular Life Support)がトレーニングできます。これらに加え、気管挿管に関するトレーニングも行えます。



CVC穿刺挿入トレーニング

中心静脈穿刺はその侵襲性は決して無視できず、医療安全の面からも問題になっています。シミュレーターを用いることで、ランドマーク法および超音波法による中心静脈穿刺のトレーニングが安全に行えます。



高機能シミュレーター 成人モデル

このシミュレーターは投与した薬物の種類や量に応じて患者データが変動します。そのため麻酔の導入から術中の患者容体変化、術後管理の一連の対応を学べます。また臨床現場での実際的な急変対応などがトレーニングできます。



超音波診断トレーニング

腹部領域、救急、産科など複数の症例が収録されており、リアルな画像に基づいた診断技能のトレーニングが行えます。臨床訓練を積むことが難しい婦人科領域の練習も、納得がいくまでトレーニングすることが可能です。



内視鏡バーチャルトレーニング

気管支鏡、上部および下部消化管内視鏡の手技トレーニングが可能です。鮮明なバーチャル画像で病変を確認し、内視鏡処置具を操作することができます。



腹腔鏡下バーチャルトレーニング

鮮明なバーチャル画像を用いて、腹腔鏡下手術手技の基本スキルから複数の腹腔鏡下術式を実践的にトレーニングすることができます。最大、左右4本の手術器具を使用することが可能です。



ワイヤレス高機能シミュレーター 成人モデル

あらかじめプログラムした患者症例に沿ったシナリオを用いて、急変対応のトレーニングや多職種チームトレーニングを実施することができ、臨床に近い臨場感あるトレーニングが可能です。



高機能シミュレーター 小児モデル

健康な状態から生死にかかわる状態まで多種多様な症状が再現できます。医療者以外に保育士や学校教員など、小児に関わる専門職を対象とした急変時対応のトレーニングを行うことも可能です。





クリニカル・スキルラボの利用申込及び利用実績

SIMSTAR (Simulation Center for Medical Skills Training and Research)

スキルラボの利用申込から当日まで

電話にて、スキルラボ管理者へご相談ください。
その際、以下の情報についてお知らせください。

お問い合わせ先 **022-717-8867**

1. 利用日時
2. 利用者の概要、利用人数
3. 利用目的(トレーニング内容)

スキルラボのホームページより利用申請を入力する

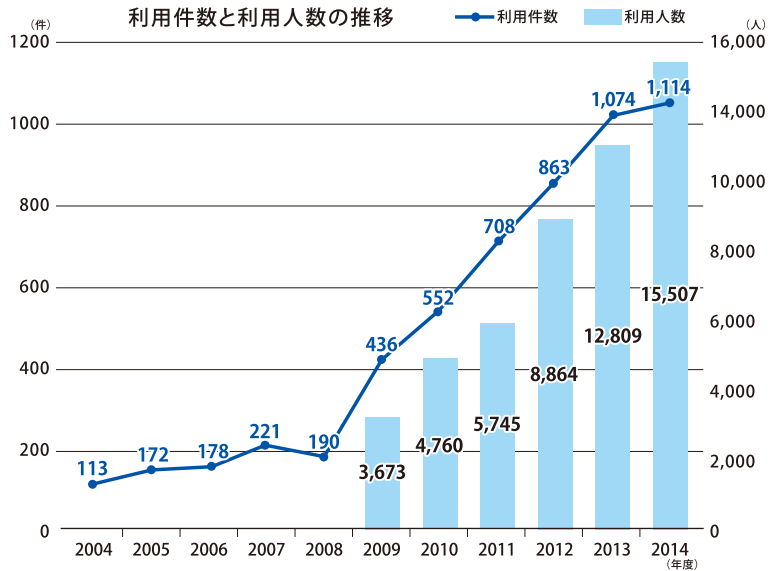
東北大 スキルラボ

<http://www.csl.med.tohoku.ac.jp/>

必要に応じて、事前に打合わせを行う場合があります

トレーニング本番を迎えます

スキルラボの利用実績



《2014年度》

学内の利用(学生、病院職員向け) **61.1%** のべ**9481名**
 学外の利用(学外向け、学外の方) **37.1%** のべ**5747名**
 その他(トレーニング以外) **1.8%** のべ**279名**



総合地域医療研修センターの主な企画

企画内容

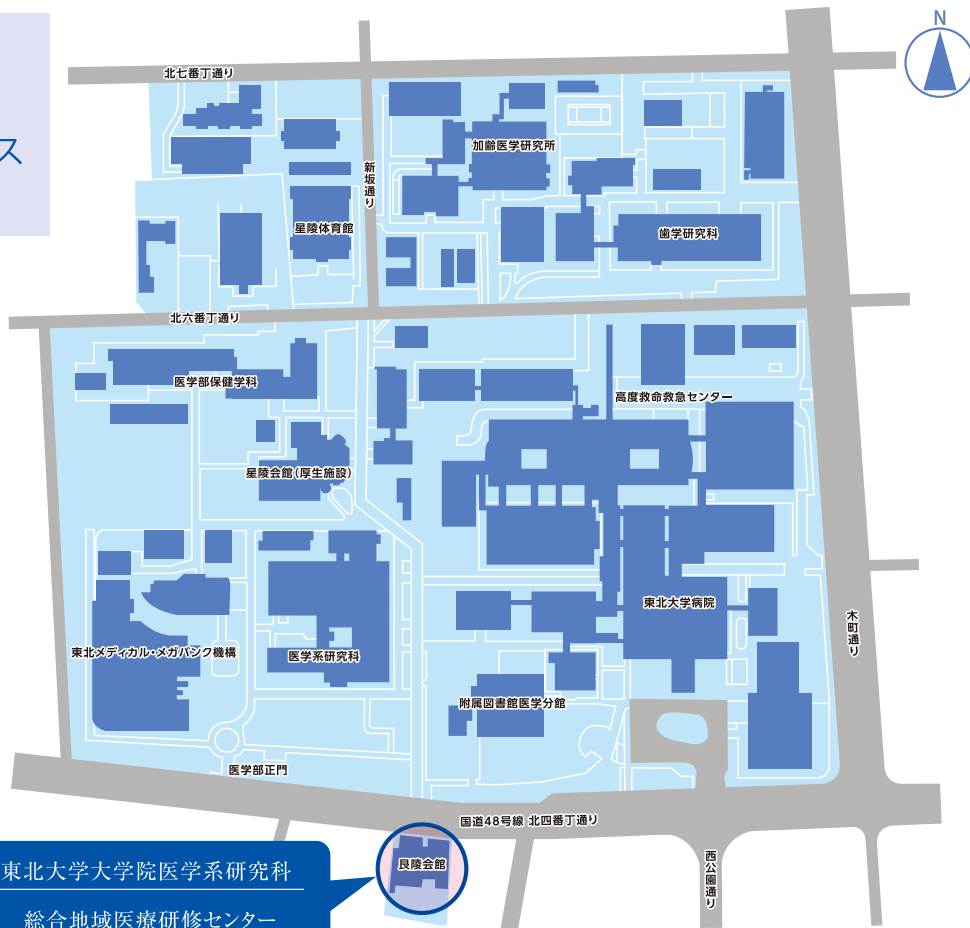
- 医学科学学生の被災地医療体験学習(東北大学および全国の大学医学部・医科大学)
- 日常診療で活用できる漢方薬の使い方-漢方研修会
- 診療に役立つ漢方薬、鍼灸の知識・技術を系統的に学ぶセミナー
- 地域医療、プライマリケアで役立つ統合医療研修会
- パーチャルスライド関連病理診断講習会
- 米国心臓協会(AHA) ACLSヘルスケアプロバイダーコース開催支援
- 米国心臓協会(AHA) BLSヘルスケアプロバイダーコース開催支援
- 経皮的心肺補助デバイス(PCPS)シミュレーション
- SimMarathon(シムマラソン)
- SimNight(シムナイト)
- 急性心不全症候群シミュレーション
- 緊急気道管理トレーニング
- ガイドラインに基づく心肺蘇生法研修と蘇生技能評価のシステム化
- SEPSIS MANAGEMENT SIMULATION(敗血症治療シミュレーション)
- 南三陸町等の被災地の保健師活動の支援
- 宮城県内訪問看護師を対象とした看護技術研修会
- SIMSTARインストラクターネットワークのシステム整備及びそのネットワークを活用した研修会等整備事業
- シミュレーション教育に関わる指導者養成プログラムの作成
- 看護師の実践・教育・研究に役立つ知識・スキルのアップデート講習会
- 出張スキルラボ
- 災害歯科医療学(災害歯科学実践講義)
- 摂食・嚥下リハビリテーション専門研修会
- 被災地訪問実地研修(災害歯科医療学実地研修会)
- 動物を用いた医療技術トレーニング
- 在宅の人工呼吸器装着者の災害時に備える支援についての研修会
- 仙台市障害者福祉センター職員 喀痰吸引研修会
- 災害医学特論(概論)講演会
- 地域医療に従事する助産師のためのALSO(Advanced Life Support in Obstetrics)研修会
- 災害時周産期メンタルヘルス研修会
- 東北大学医学部 被災地体験実習
- 医学部保健学科学学生を対象とした被災地体験実習
- 漢方市民公開講座・講演会
- インターネットを用いた、地域医療・在宅医療に役立つ漢方学習
- 東北地方における病理組織診断のコンサルト及び病理検討会
- 口腔ケア専門研修会
- 災害口腔科学専門研修会
- NICU医療に従事する看護師と学生のためのNCPR
- パーチャル顕微鏡を利用した被災地医療機関との病理診断テレビ会議

(2014年度実績)

アクセス
ACCESS



星陵
キャンパス



東北大学大学院医学系研究科
総合地域医療研修センター
クリニカル・スキルラボ
〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町3番34号
東北大学医学部良陵会館内



東北大学
総合地域医療研修センター



TEL 022-717-8010 FAX 022-717-8021
http://www.ctc.med.tohoku.ac.jp
e-mail/ ctc@med.tohoku.ac.jp

●医学部・医学系研究科 ●歯学部・歯学研究科 ●東北大学病院 ●加齢医学研究所

平成27年10月作成